

水生生物の保全に係る環境項目の環境基準適合状況 (平成 23 年度)

水生生物の保全に係る環境項目についての環境基準は、公共用水域における水生生物の生息及び生息環境の保全を目的として、水生生物の生息状況等に応じて、水域ごとに水域類型(特 A、A、特 B 及び B)を指定し、類型ごとに、全垂鉛の1項目について、基準値が定められています。

平成 21 年度に木曽川、長良川、揖斐川及び横山ダム貯水池の3河川1湖沼について環境省により類型指定が行われています。岐阜県では、これら以外の水域について、平成 24 年度から5年計画で類型指定を行う予定です。

水生生物の保全に係る環境項目の環境基準達成率は、環境基準点ごとに年間平均値で判定しますが、表のとおり、平成 23 年度における環境基準の達成率は、100%でした。

平成 23 年度 水生生物の保全に係る環境項目総括表

(備考)m:環境基準に適合しない検体数 n:総検体数

水系	水域	類型	地点	全亜鉛						
				m / n	%	最小	～	最大	平均	
木曾川	木曾川(1)	A	落合ダム	0 / 4	100.0	0.002	～	0.004	0.003	
			兼山ダム	0 / 4	100.0	0.002	～	0.008	0.004	
	木曾川(2)	B	犬山橋	0 / 10	100.0	<	0.001	～	0.007	0.004
			起(濃尾大橋)	0 / 10	100.0	<	0.001	～	0.005	0.003
長良川	長良川(1)	A	和合橋	0 / 4	100.0	0.001	～	0.003	0.002	
			鮎之瀬橋	0 / 4	100.0	0.003	～	0.006	0.004	
			藍川橋	0 / 10	100.0	<	0.001	～	0.009	0.004
	長良川(2)	B	長良大橋	0 / 8	100.0	<	0.001	～	0.028	0.011
揖斐川	揖斐川上流	A	岡島橋	0 / 9	100.0	<	0.001	～	0.012	0.003
	揖斐川下流	B	鷺田橋	0 / 9	100.0	0.001	～	0.009	0.003	
			福岡大橋	0 / 9	100.0	0.001	～	0.005	0.003	